

和気町教育委員会

【開催年月日】 令和4年5月31日（火）

【召集の場所】 佐伯庁舎 町民室
午後2時開会

【出席者】 教育長 徳永 昭伸
委 員 國友 道一
委 員 有正 省三
委 員 坪井 悠子
委 員 安藤 知春

【事務局出席者】 万代教育次長・國定学校教育課長・森元社会教育課長代理

【付議した議案】

報告第 2 号 和気町教育委員会教育長職務代理者の指名について

承認第 4 号 専決処分の承認について

議案第 11 号 令和3年度教育行政報告の承認について

【その他】

- ・議会臨時会の報告について
- ・吉井川河川グラウンド芝生広場整備事業について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・その他

審議の記録 (一部要約)

開会時刻 午後2時開会

万代教育次長 今回から配付したタブレットを活用し、説明をすると報告した。また、5月20日の議会臨時会において、安藤知春教育委員会委員の再任が承認されたことを報告した。

徳永教育長の開会挨拶後、安藤委員が再任挨拶を行った。

徳永教育長 議事録署名委員に坪井委員と安藤委員を指名した。その後、教育長諸般の報告をした。

【議事】

徳永教育長 報告第2号「和気町教育委員会教育長職務代理者の指名について」事務局に説明を求めた。

万代教育次長 和気町教育委員会教育長職務代理者の指名に関する規則（平成30年教育委員会規則第6号）第2条の規定により定める者であると説明した。

徳永教育長 教育長職務代理者に國友道一委員を指名した。

次に、承認第4号「専決処分の承認について」事務局に説明を求めた。

國定学校教育課長 指定就園変更の承認について説明した。

徳永教育長 説明について意見・質問を求めた。

有正委員 保育園・幼稚園・にこにこ園と3種類の表記があるが、問題はないのか。

万代教育次長 正式な施設名は、〇〇保育園と〇〇幼稚園ですが、和気町は幼保一体施設として、施設の名称を〇〇にこにこ園としていると報告した。

徳永教育長 認定こども園の申請をしていないので、そのようになる。

徳永教育長 その他に意見・質問を求めたが特になく、次に議案第11号「令和3年度教育行政報告書の承認について」事務局に説明を求めた。

万代教育次長 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないことから承認を求めるものであると、提案理由を述べた。

万代教育次長・國定学校教育課長・森元社会教育課長代理 令和3年度教育行政報告書の内容について、各担当箇所の説明を行った。

徳永教育長 説明について意見・質問を求めた。

有正委員 毎年、改善はいただいているが分かりにくい。一般の町民も見めるのか。

万代教育次長 ホームページに掲載するので一般町民の方も見ることはできる。

有正委員 まず、「はじめに」において、頭出しだけで、それでどうなったとか。表現の肉付けが必要。また、全体に言えることであるが表記している言葉が一般町民に理解できるのか。例えば、スクールサポーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、登校支援員、不登校対策担当者等、業務内容等予算はどうなっているのか。各校に何人ぐらい配置されているのか。多くの職名の業務内容が分からない中で次々出てきている。町民の方にも理解していただくためには可能な限り整理し、要約版を用意してほしい。

徳永教育長 専門用語が多いので説明が必要である。

國友委員 働き方改革の推進と教育の質の向上の中で、部活動の負担軽減で部活動支援員の配置が記載されているが、地域を巻き込んだ部活動の在り方をより一層考えていく必要がある。令和3年度の実績はこれでよいのだが、令和4年度は社会教育と学校教育が連携し、部活動の負担軽減に本気で取り組んでいくべきと思う。

有正委員 部活動指導員も以前から比べて増えている。数年計画で全部活に指導員を置くことができれば良いと思う。

國定学校教育課長 中学校では、部活動が長時間勤務の主な要因となっている。朝夕の練習に加え、更には休日の大会等があるので、かなりの負担になっている。全国的にも休日の部活動から地域へと移行が進んでいる。

有正委員 朝の練習をまだしているのか。

國定学校教育課長 まだしている。

國友委員 朝の練習は部単位で実施するのではなく、体力をつける基礎練習とするのであれば、合同で実施することにより先生方の負担も減る。朝の練習を止めなくても効率的な運用により可能となる。また、学校が主体となり、不足するところは地域の協力も得ながら実施すべきである。

徳永教育長 朝の練習の在り方については、佐伯・和氣中学校長も連携し考えている。朝の練習を望んでいる子ども、保護者、先生もいる。その中でどのように教員の働き方改革を進めていくか。スポーツ庁が示すことになっているが、まだ一本化されたものが出てきていない。以前は土日の部活動を地域移行する方針であったが、現在、土日はスポーツ活動で部活動ではないとの考えとなり、土日は地域のスポーツ活動に移行する考え方となっている。統一された方策は示されないので和氣町モデルが必

要で、大学との連携も考えている。また、国は指導者への費用は、受益者負担の考えで保護者負担としていることも課題である。

有正委員

現在、小学生は陸上とかバレー（表現）教室に通っていると聞く。

徳永教育長

国はそういった活動を思っている。

國友委員

部活動は学校活動の一環とされている保護者も多くおり、指導者への有償は難しいのでは。地域企業からの寄付金で運営している部活動もあると聞く。

有正委員

特に若手の先生方は授業の研究の方が重要である。

徳永教育長

国は、指導者を見つけることが難しい場合などは、土日に教員の兼職兼業を想定している。そうすると職員異動で部活動の存続にも影響する。

國友委員

高等学校では既にその体制である。中学校にも降ろしていこうとしている。

徳永教育長

教職員の働き方改革にならないし、部活の存続が職員異動にも左右される。

國友委員

中学校の先生は、1週間の持ち時間の平均はどのくらいか。

國定学校教育課長

佐伯中学校は1人当たりの持ち時間は少ないが校務分掌が複数あり、和気中学校は週18～20時間位である。

國友委員

昔と比べると大分減っている。

徳永教育長

担任や道徳・学活・総合学習があるので、1時間～2時間増える。

國友委員

そうなると昔より多い。

有正委員

美術、技術家庭科、音楽の先生は。

徳永教育長

非常勤職員である。

有正委員

小学校で部分的に教科担任制が始まっているのか。

徳永教育長

始まってはいるが人は増えていない。教員の数が増えれば教科担任制もできるが。

有正委員

得意な教科をお互いに持つことにより先生の負担は減ると思われる。

徳永教育長

義務教育学校になると両方の免許を持った職員を配置してくれる。

有正委員

小中の両方の免許を持っている人は何パーセント位か。将来を見据え両方を持ってもらうべきと思うが。

徳永教育長

小学生の先生で中学校の免許を持っている人が多い。

有正委員

小学生の高学年は教科担任制にすべきと思われるが。

徳永教育長

英語は実施している。

有正委員

理科・算数・音楽などは専門性が高いが、できていないのはどうしてか。

國定学校教育課長

ある程度ではあるが、加配教員や非常勤で対応している。

有正委員

働き方改革の視点で先生方の負担をシェアしていく方針を打ち出す必要があるのでは。

國定学校教育課長

これまでも校長会で提案をしたことがあるが、強くは言っていない。

有正委員

働き方改革で役に立つのであれば、学校に任すのではなく教育委員会から実施に向けた指導をするべきと思う。

徳永教育長

教科担任制について、もう少し研究させていただく。

森元社会教育課長代理

部活動の地域移行において、単独の学校で部活が成り立たない場合に他市町と連携し指導員を配置する必要が生じる。総合型スポーツクラブやスポーツ少年団が対象になるが、和気町だけでカバーできるか課題がある。国は来年度から実施するように言っているが、この課題は大きい。

- 國友委員 中体連への登録の問題もある。クラブチームで登録ができるのか。
- 徳永教育長 スポーツ庁が全国中体連へその方向性で協議していると聞いている。全国大会へもクラブから出られる。そうすると平日は部活で、土日は地域のクラブでとなる。出場資格はどのチームとなるのかは不明である。
- 坪井委員 野球で言えば、他市町の中学校と合同チームとなっている。
- 徳永教育長 それは町内の和気中と佐伯中では1チームができない状況があり、他市町と合同となっている。県中体連は近くの2校でのチーム作成を優先しており、個人戦を含め、自治体代表となることが望ましいと要望をあげている。田舎の市町村しかそういった問題は起きないので、大きな声とはなっていない。進めようとしている施策は都市を中心とした考え方となっている。
- 國友委員 それでも実施しないといけないので、今年中には少しでも方向性を示し、来年度は幾つかの部が地域指導者を見つけて実施できればと考えている。
- 徳永教育長 具体的にやってみる必要がある。そうすることによって問題点もでてくる。
- 國友委員 協議会はできたが、進めていく上での質問に明確な回答ができかねる状況である。
- 國友委員 受益者負担と割り切れば良いのかもしれないが、無償での部活動を補償していくとすると、資金集めが大変で、校長や教頭が地元企業を回っているとも聞く。
- 有正委員 いきなり大会への出場ではなく、ひとまずは土曜日3時間の活動をどのようにすべきか考えるべきである。試合では一緒のチームではないかもしれないが、例えば町内中学校は一緒の場所で活動をするとか。
- 徳永教育長 子どもたちに活動場所の確保について、地域の協力を得るということで考えていきたいと思う。
- 有正委員 土曜日教育支援の中でスポーツ活動に取り組むことができれば、部活動問題と一体に考えることができるのではないかと。また、指導者の確保育成の項目の中で、指導者となり得る講座生を育成するために、教育委員会の指定講座を受講し指導者となれる社会教育システムをつくる必要がある。
- 國友委員 和気閑谷高校の魅力化事業について具体的に教えてほしい。
- 森元社会教育課長代理 閑谷学はコーディネーターを設置している。生徒募集のために事業として全国版プラットフォームに登録と下宿先へ補助をしている。
- 國友委員 伝統文化の保存と活用で、清麻呂公顕彰事業の漫画について、史実の扱いに注意してほしい。
- それと絵本の読み聞かせについて、この教材も入れてほしい。和気清麻呂公を宣伝してほしい。また、津田永忠のデジタル紙芝居（DVD）ができて、岡山県内の小中学校に配布し、ユーチューブにもあげている。そういった取組みを参考に和気清麻呂や広虫を全国に発信してほしい。
- 森元社会教育課長代理 猪は伝承であるが、和気清麻呂公の象徴なので、取り上げさせていただいた。
- 徳永教育長 学校で活用する場合には気をつけていただくように。
- その他に意見質問を求めたが特になく、意見について修正を行い公表するよう指示をし、全会一致で承認された。
- 以上で議事を終了し、その他の項目について事務局より報告を求めた。

万代教育次長 5月議会臨時会での太田町長所信表明と教育委員会関係案件を報告した。

森元社会教育課長代理 吉井川河川グラウンド芝生広場整備事業について報告をした。

国定学校教育課長 学校園の新型コロナウイルス感染症対策について報告した。

万代教育次長 田植えまつりイベントについて報告した。

万代教育次長 次回教育委員会の開催を6月29日(水)午後2時から開会とし、資料は電子データを基本とし紙資料も部分的に付けることとした。また、電子データは開催日の前週末までにクラウド上に掲載すると伝えた。
閉会あいさつにて散会。

閉会時刻 午後4時43分

議事録署名

委員 坪井 悠子 

委員 安藤 知春 

教育次長 万代 明 